

2023年3月期 決算説明資料

2023年5月23日



株式会社 熊谷組



I .2023年3月期決算 財務情報

1.ハイライトP2
2.決算の概況【連結】P3
3.単体受注高P4
4.損益計算書P8
5.連結子会社の業績P11
6.完成工事高および完成工事総利益(率)【連結】P12
7.完成工事高および完成工事総利益(率)(国内)【単体】P13
8.四半期毎の完成工事高および完成工事総利益(率)の推移【連結】【単体】P14
9.販売費及び一般管理費、営業利益および経常利益の推移【連結】P15
10.貸借対照表【連結】P16
11.自己資本、自己資本比率およびROE【連結】P18
12.株主還元【連結】P19
13.有利子負債【連結】P20
14.キャッシュ・フロー【連結】P21
15.設備投資、減価償却費、研究開発費の推移【連結】P22
16.中期経営計画における財務目標との比較(2023年度)P23
17.中期経営計画における投資の推移P24
18.企業価値向上に向けた取組みP25

1.ハイライト

- | | |
|---|--|
| 1 | 受注高は横這い【単体】 <ul style="list-style-type: none">・民間土木が減少するも、官庁土木、民間建築が増加したことにより、前期と同水準の受注量を確保 |
| 2 | 完成工事高減少、各利益とも減益【連結】 <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍及び物価高騰等の影響により、複数の工事にて進捗が鈍化・期中受注工事の売上貢献が少なかったことから完成工事高は減少・建設コスト上昇により利益率の改善が進まず |
| 3 | 2024年3月期見通し【連結】 <ul style="list-style-type: none">・手持ちの低採算工事の影響は残るものの、繰越高の増加により、グループ各社で増収・増益の見通し |
| 4 | 株主還元 <ul style="list-style-type: none">・安定配当の方針から23/3期の配当は130円/株を予定・現中期経営計画期間中の総額100億円の自己株式取得方針に基づき、22/3期と23/3期の2期合計で80億円の自己株式取得及び消却を実施、24/3期も引き続き20億円の取得及び消却を予定 |

2.決算の概況【連結】

(単位:億円)

	A.2022/3期 通期 実績	B.2023/3期 通期 実績	C.2024/3期 通期 予想	B-A	C-B
完成工事高	4,252	4,035	4,331	▲217	296
営業利益	227	115	152	▲113	37
経常利益	237	122	157	▲115	35
親会社株主に帰属する 当期純利益	159	80	104	▲79	24
単体受注高	3,502	3,486	3,730	▲16	244

3.単体受注高① 実績と予想

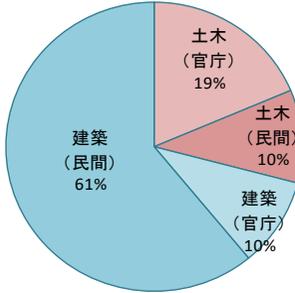
【単体】

(単位: 億円)

(国内受注高官民構成)

	A.2022/3期 通期 実績	B.2023/3期 通期 予想	C.2023/3期 通期 実績	C-A		C-B		
				増減	増減率	増減	増減率	
国内	官庁	596	770	649	53	9.0%	▲121	-15.7%
		民間	512	380	363	▲149	-29.1%	▲17
	土木	1,108	1,150	1,013	▲96	-8.6%	▲137	-11.9%
	官庁	359	330	347	▲12	-3.5%	17	5.1%
		民間	2,034	2,120	2,126	92	4.5%	6
	建築	2,393	2,450	2,472	79	3.3%	22	0.9%
	3,501	3,600	3,485	▲16	-0.5%	▲115	-3.2%	
海外	1	120	1	0	41.3%	▲119	-99.0%	
受注高	3,502	3,720	3,486	▲16	-0.5%	▲234	-6.3%	

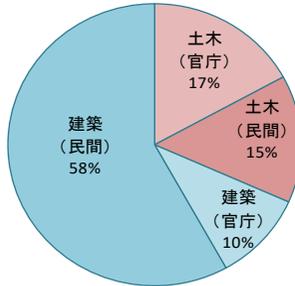
D.2024/3期 通期 予想	D-C	
	増減	増減率
730	81	12.4%
370	7	1.8%
1,100	87	8.6%
290	▲57	-16.4%
2,160	34	1.6%
2,450	▲22	-0.9%
3,550	65	1.9%
180	179	-
3,730	244	7.0%



2023/3期実績

【当期に受注した主な工事】

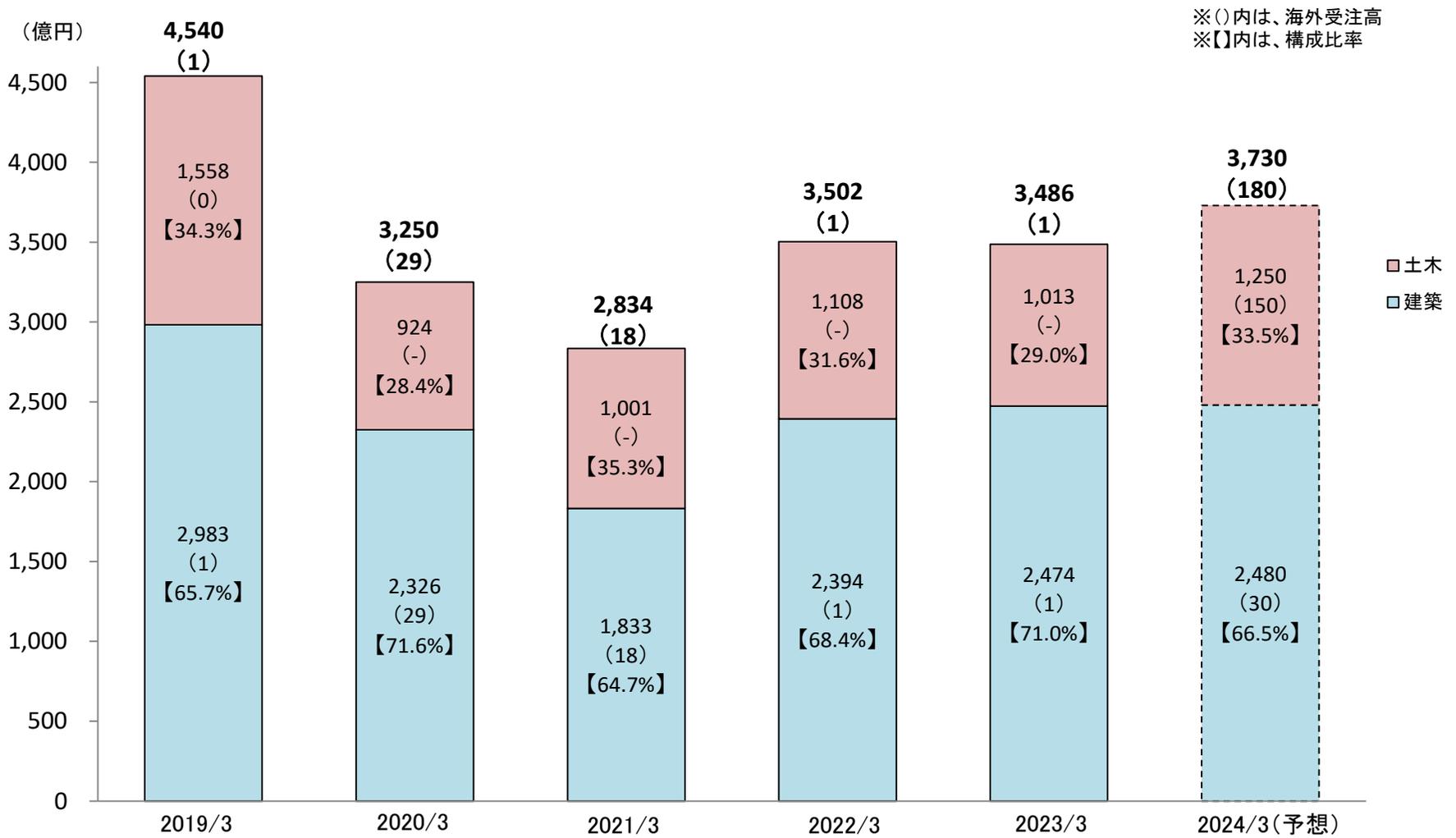
土建	官民	発注者	工事名	所在地	完成時期
土木	官庁	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	北海道新幹線、岩尾別高架橋	北海道	2027/7
土木	官庁	札幌市	国庫補助事業創成川処理区IV-01000(北45条東1丁目ほか)下水道新設工事	北海道	2027/2
土木	官庁	国土交通省	令和4年度42号熊野第2トンネル工事	三重県	2025/11
土木	官庁	東日本高速道路株式会社	首都圏中央連絡自動車道 新利根川橋(下部工)西工事	茨城県	2024/11
建築	民間	三井不動産レジデンシャル株式会社、野村不動産株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、伊藤忠都市開発株式会社、東方地所株式会社、株式会社富士見地所、袖ヶ浦興業株式会社	(仮称)幕張新都心若葉住宅地区計画(B-4街区)	千葉県	2026/4
建築	民間	阪神電気鉄道株式会社	阪神タイガース二軍施設移転計画 新築工事	兵庫県	2025/1
建築	民間	医療法人徳洲会	徳之島徳洲会病院移転新築工事	鹿児島県	2025/4
建築	官庁	兵庫県	県立西宮総合医療センター(仮称)病院棟外建築工事	兵庫県	2026/1



2022/3期実績

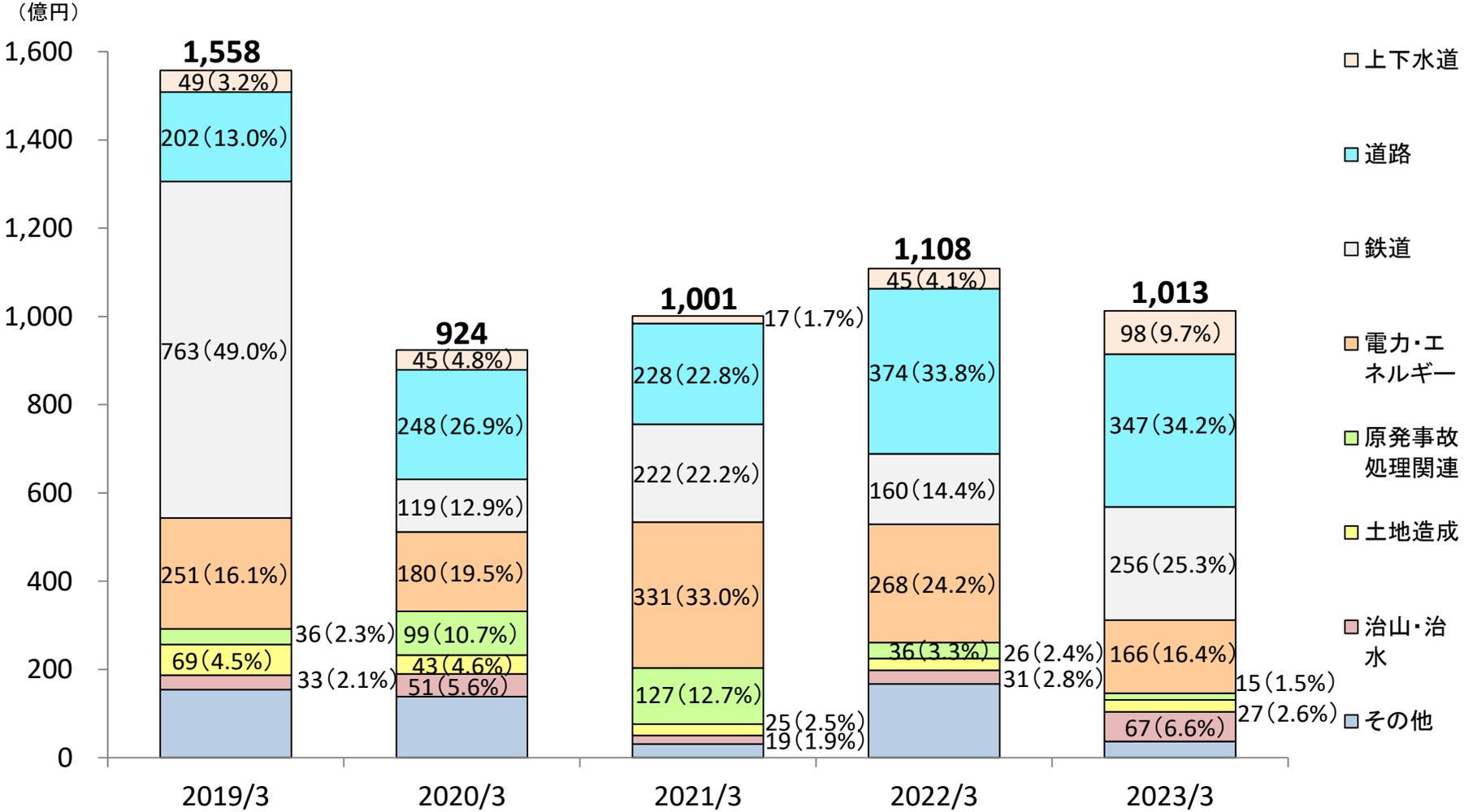
3.単体受注高② 推移

- 23/3期は企業の設備投資が堅調に推移し、受注高は前年同水準を確保
- 引き続き設備投資の増加基調を見込み、24/3期の受注高も増加の見通し



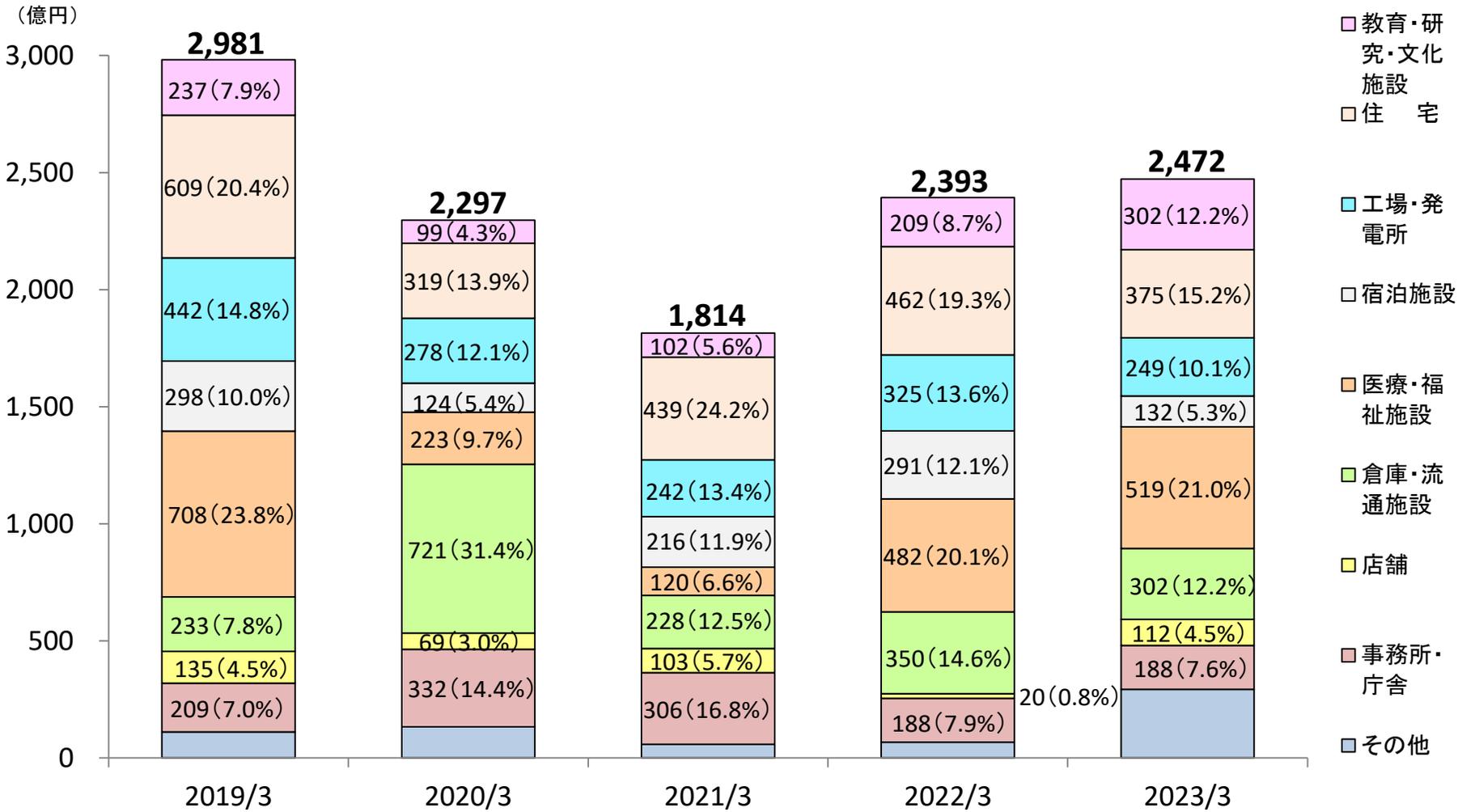
3.単体受注高③ 土木(国内)

• 電力エネルギー分野の受注が減少したが、鉄道関連で大型案件を受注し、前年同水準を確保



3.単体受注高④ 建築(国内)

- 競合優位性がある医療・福祉施設において大型の移転工事等を受注
- 教育・研究・文化施設にて複数の大型案件を受注



4.損益計算書① 実績と予想【連結】

【連結】

(単位:億円)

	A.2022/3期			B.2023/3期			C.2023/3期			C-A				C-B				D.2024/3期			D-C			
	通期 実績			通期 予想			通期 実績			増減			増減率	増減			増減率	通期 予想			増減			増減率
	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等		連結	単体	子会社等		連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	
完成工事高	4,252	3,310	942	4,080	3,064	1,016	4,035	2,993	1,042	▲ 217	▲ 317	100	-5.1%	▲ 45	▲ 71	26	-1.1%	4,331	3,110	1,221	296	117	179	7.3%
完成工事総利益	435	333	101	375	280	95	332	246	87	▲ 103	▲ 88	▲ 15		▲ 43	▲ 34	▲ 8		378	269	109	46	23	22	
(利益率)	10.2%	10.1%	10.8%	9.2%	9.1%	9.4%	8.2%	8.2%	8.3%	-2.0%	-1.9%	-2.5%		-1.0%	-0.9%	-1.1%		8.7%	8.6%	8.9%	0.5%	0.4%	0.6%	
一般管理費	207	156	52	219	164	55	217	165	52	10	10	1		▲ 2	1	▲ 3		226	169	57	9	4	5	
営業利益	227	178	50	156	116	40	115	80	34	▲ 113	▲ 97	▲ 15	-49.5%	▲ 41	▲ 36	▲ 6	-26.4%	152	100	52	37	20	18	32.4%
(利益率)	5.3%	5.4%	5.3%	3.8%	3.8%	3.9%	2.8%	2.7%	3.3%	-2.5%	-2.7%	-2.0%		-1.0%	-1.1%	-0.6%		3.5%	3.2%	4.3%	0.7%	0.5%	1.0%	
営業外収益	13	25	▲ 12	14	28	▲ 14	13	27	▲ 14	1	2	▲ 2		▲ 1	▲ 1	0		11	20	▲ 9	▲ 2	▲ 7	5	
営業外費用	3	3	0	6	6	0	6	6	▲ 0	3	3	▲ 0		▲ 0	0	▲ 0		6	6	0	0	▲ 0	0	
経常利益	237	200	38	164	138	26	122	102	21	▲ 115	▲ 98	▲ 17	-48.4%	▲ 42	▲ 36	▲ 5	-25.4%	157	114	43	35	12	22	28.3%
(利益率)	5.6%	6.0%	4.0%	4.0%	4.5%	2.6%	3.0%	3.4%	2.0%	-2.6%	-2.6%	-2.0%		-1.0%	-1.1%	-0.6%		3.6%	3.7%	3.5%	0.6%	0.3%	1.5%	
特別利益	1	1	1	2	1	1	2	1	1	0	0	0		▲ 0	▲ 0	▲ 0		0	0	0	▲ 2	▲ 1	▲ 1	
特別損失	10	9	1	3	2	1	4	3	1	▲ 6	▲ 5	▲ 0		1	1	▲ 0		1	0	1	▲ 3	▲ 3	0	
税金等調整前当期純利益	229	192	37	163	137	26	120	99	21	▲ 109	▲ 93	▲ 16	-47.5%	▲ 43	▲ 38	▲ 5	-26.2%	156	114	42	36	15	21	29.7%
法人税、住民税及び事業税	73	59	14	45	34	11	37	28	9	▲ 36	▲ 30	▲ 5		▲ 8	▲ 6	▲ 2		49	33	16	12	5	7	
法人税等調整額	▲ 2	▲ 4	2	8	6	2	3	1	2	5	5	0		▲ 5	▲ 5	0		3	3	0	▲ 0	2	▲ 2	
親会社株主に帰属する当期純利益	159	137	21	110	97	13	80	70	10	▲ 79	▲ 67	▲ 11	-49.7%	▲ 30	▲ 27	▲ 3	-27.5%	104	78	26	24	8	16	30.4%
(利益率)	3.7%	4.1%	2.3%	2.7%	3.2%	1.3%	2.0%	2.3%	0.9%	-1.7%	-1.8%	-1.4%		-0.7%	-0.9%	-0.4%		2.4%	2.5%	2.1%	0.4%	0.2%	1.2%	

【連結子会社 7社】

(株)カリアート、テクノス(株)、ケーアンドイー(株)、(株)ファテック、テクノスペース・クリエイツ(株)、(株)テクニカルサポート、華熊營造(股)公司(台湾)

【持分法適用会社 3社】

笹島建設(株)、共栄機械工事(株)、(株)前田工務店

4.損益計算書② 実績と予想【単体】

【単体】

(単位:億円)

		A.2022/3期		B.2023/3期		C.2023/3期		C-A		C-B		D.2024/3期		D-C		
		通期	実績	通期	予想	通期	実績	増減	増減率	利益率	増減	増減率	利益率	増減	増減率	利益率
国内	土木	941		900		899		▲ 41	-4.4%	▲ 1	-0.1%	900		1	0.1%	
	建築	2,357		2,144		2,081		▲ 277	-11.7%	▲ 63	-3.0%	2,200		119	5.7%	
		3,298		3,044		2,980		▲ 318	-9.6%	▲ 64	-2.1%	3,100		120	4.0%	
海外		12		20		13		1	7.5%	▲ 7	-33.6%	10		▲ 3	-24.7%	
完成工事高		3,310		3,064		2,993		▲ 317	-9.6%	▲ 71	-2.3%	3,110		117	3.9%	
国内	土木	91	9.7%	90	10.0%	85	9.4%	▲ 6	-0.3%	▲ 5	-0.6%	90	10.0%	5	0.6%	
	建築	242	10.3%	190	8.9%	160	7.7%	▲ 82	-2.6%	▲ 30	-1.2%	178	8.1%	18	0.4%	
		333	10.1%	280	9.2%	244	8.2%	▲ 88	-1.9%	▲ 36	-1.0%	268	8.6%	24	0.4%	
海外		1	5.7%	0	0.0%	1	8.7%	0	3.0%	1	8.7%	1	10.0%	▲ 0	1.3%	
完成工事総利益		333	10.1%	280	9.1%	246	8.2%	▲ 88	-26.3%	▲ 34	-12.3%	269	8.6%	23	9.5%	0.4%
一般管理費	人件費	76		76		76		▲ 0		0		79		3		
	物件費	79		88		89		10		1		90		1		
一般管理費		156		164		165		10		1		169		4		
営業利益		178	5.4%	116	3.8%	80	2.7%	▲ 97	-54.7%	▲ 36	-30.6%	100	3.2%	20	24.3%	0.5%
営業外収益		25		28		27		2		▲ 1		20		▲ 7		
営業外費用		3		6		6		3		0		6		▲ 0		
経常利益		200	6.0%	138	4.5%	102	3.4%	▲ 98	-49.1%	▲ 36	-26.4%	114	3.7%	12	12.3%	0.3%
特別利益		1		1		1		0		▲ 0		0		▲ 1		
特別損失		9		2		3		▲ 5		1		0		▲ 3		
税引前当期純利益		192		137		99		▲ 93	-48.3%	▲ 38	-27.6%	114		15	14.9%	
法人税、住民税及び事業税		59		34		28		▲ 30		▲ 6		33		5		
法人税等調整額		▲ 4		6		1		5		▲ 5		3		2		
当期純利益		137	4.1%	97	3.2%	70	2.3%	▲ 67	-49.0%	▲ 27	-27.9%	78	2.5%	8	11.5%	0.2%

4.損益計算書③ 営業外損益および特別損益の内訳【連結】

営業外損益の状況(連結)

(単位:億円)

	A.2022/3期 通期 実績			B.2023/3期 通期 実績			B-A 増減		
	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等
受取利息配当金	6.0	20.7	▲ 14.7	8.5	23.9	▲ 15.4	2.5	3.3	▲ 0.7
持分法による投資利益	2.5	-	2.5	1.5	-	1.5	▲ 1.0	-	▲ 1.0
為替差益	1.7	1.5	0.2	1.6	1.5	0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 0.2
偶発損失引当金戻入額	1.2	1.1	0.0	-	-	-	▲ 1.2	▲ 1.1	▲ 0.0
その他	1.7	1.7	▲ 0.0	1.9	1.8	0.2	0.3	0.1	0.2
営業外収益 計	13.0	25.0	▲ 12.0	13.5	27.2	▲ 13.7	0.5	2.2	▲ 1.7
支払利息	1.7	1.7	0.0	2.1	2.3	▲ 0.2	0.3	0.5	▲ 0.2
債権売却損	-	-	-	0.2	0.2	-	0.2	0.2	-
シンジケートローン手数料	0.7	0.7	-	2.1	2.1	-	1.5	1.5	-
投資事業組合運用損	-	-	-	0.9	0.9	-	0.9	0.9	-
その他	0.7	0.7	▲ 0.0	0.6	0.5	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	0.1
営業外費用 計	3.1	3.1	0.0	6.0	6.1	▲ 0.1	2.9	3.0	▲ 0.1

特別損益の状況(連結)

(単位:億円)

	A.2022/3期 通期 実績			B.2023/3期 通期 実績			B-A 増減		
	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等
会員権売却益	0.1	0.1	-	0.8	0.8	0.0	0.7	0.7	0.0
補助金収入	0.7	0.7	-	-	-	-	▲ 0.7	▲ 0.7	-
受取損害賠償金	-	-	-	0.8	-	0.8	0.8	-	0.8
その他	0.6	0.0	0.6	0.1	0.0	0.0	▲ 0.5	0.0	▲ 0.6
特別利益 計	1.4	0.8	0.6	1.7	0.8	0.9	0.3	0.0	0.3
損害賠償金	3.9	3.7	0.3	0.9	0.9	-	▲ 3.1	▲ 2.8	▲ 0.3
感染症対策費用	2.5	2.2	0.3	0.4	0.3	0.1	▲ 2.0	▲ 1.9	▲ 0.2
加算税等	-	-	-	1.6	1.6	-	1.6	1.6	-
その他	3.1	2.7	0.4	0.9	0.5	0.4	▲ 2.2	▲ 2.3	0.0
特別損失 計	9.5	8.6	0.9	3.7	3.2	0.5	▲ 5.8	▲ 5.4	▲ 0.4

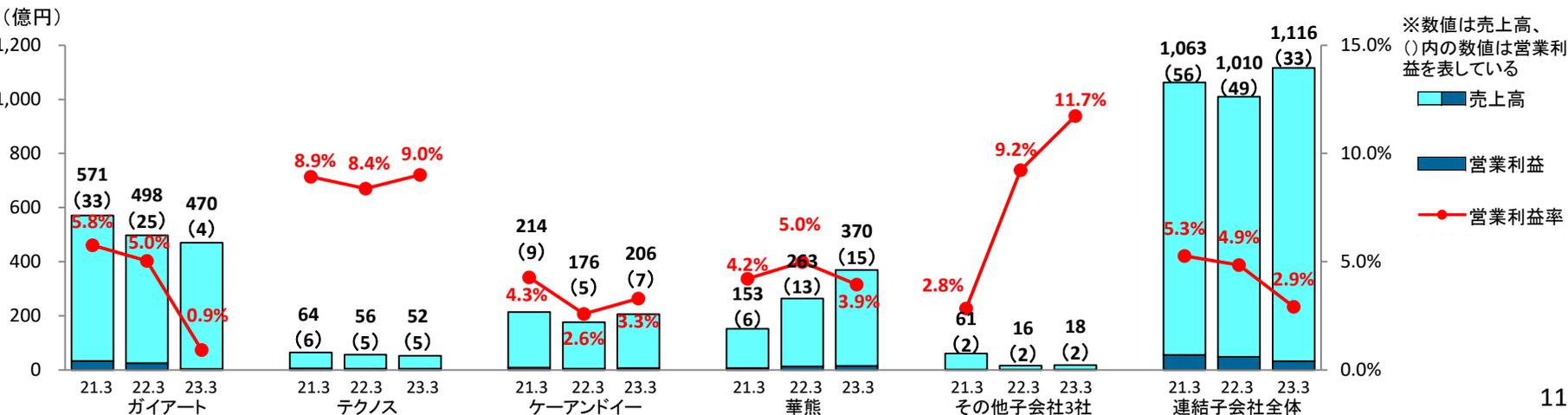
5.連結子会社の業績

・子会社全体では、華熊の好調な受注を背景に増収、営業利益は一部の子会社において競争の激化及び建設資材の高騰により利益率が低下し減益

連結子会社の業績※グループ間売上相殺等の連結調整前 (単位: 億円)

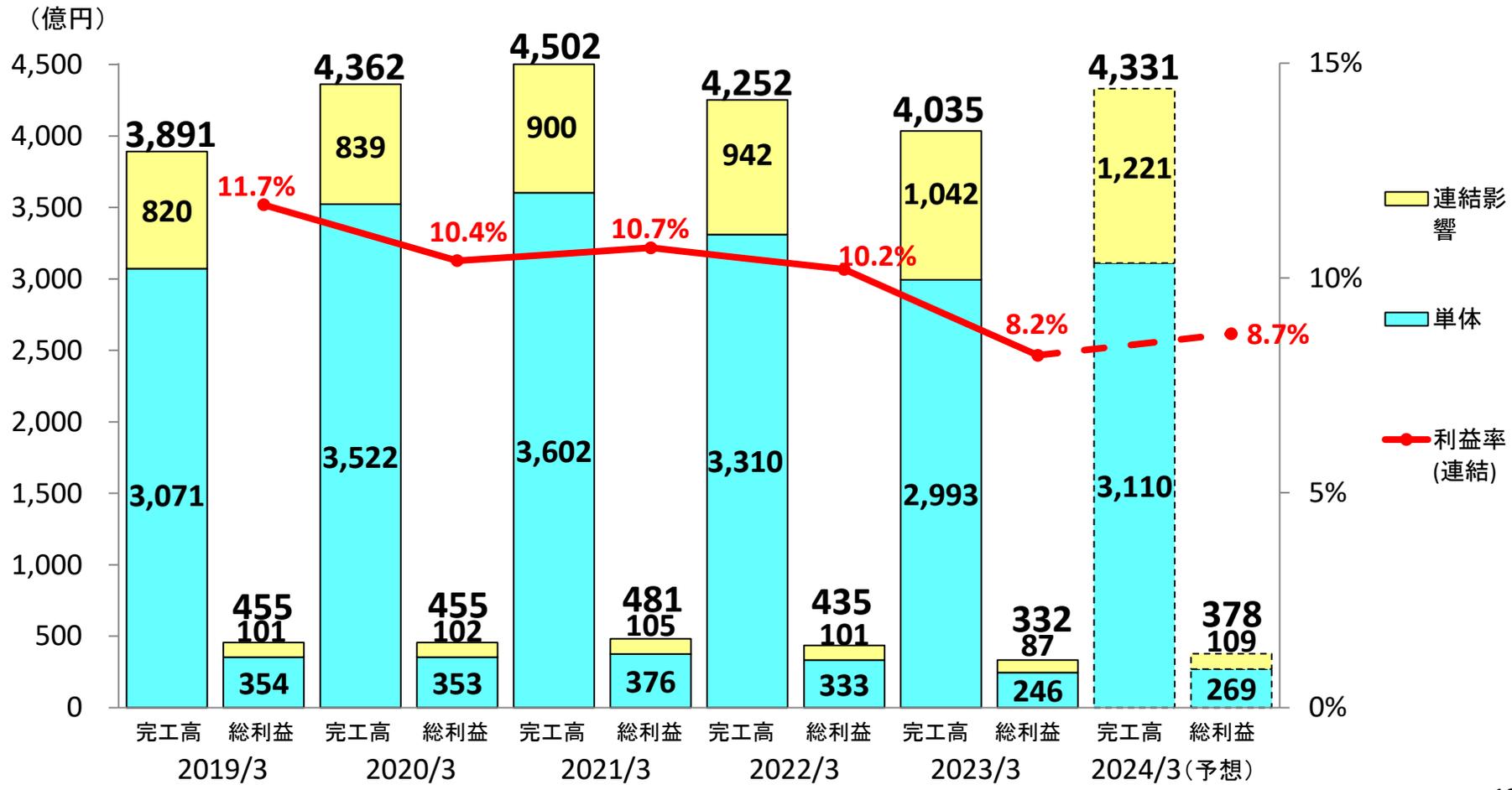
	株式会社ガイアート			テクノス株式会社			ケーアンドイー株式会社		
	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期
売上高	571	498	470	64	56	52	214	176	206
営業利益	33	25	4	6	5	5	9	5	7
経常利益	33	25	5	6	5	5	9	5	7
当期純利益	22	16	2	4	3	4	6	3	5

	華熊營造股份有限公司(台湾)			その他子会社3社			連結子会社合計		
	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期
売上高	153	263	370	61	16	18	1,063	1,010	1,116
営業利益	6	13	15	2	2	2	56	49	33
経常利益	7	13	15	2	2	2	56	49	33
当期純利益	5	10	11	1	1	1	39	34	23



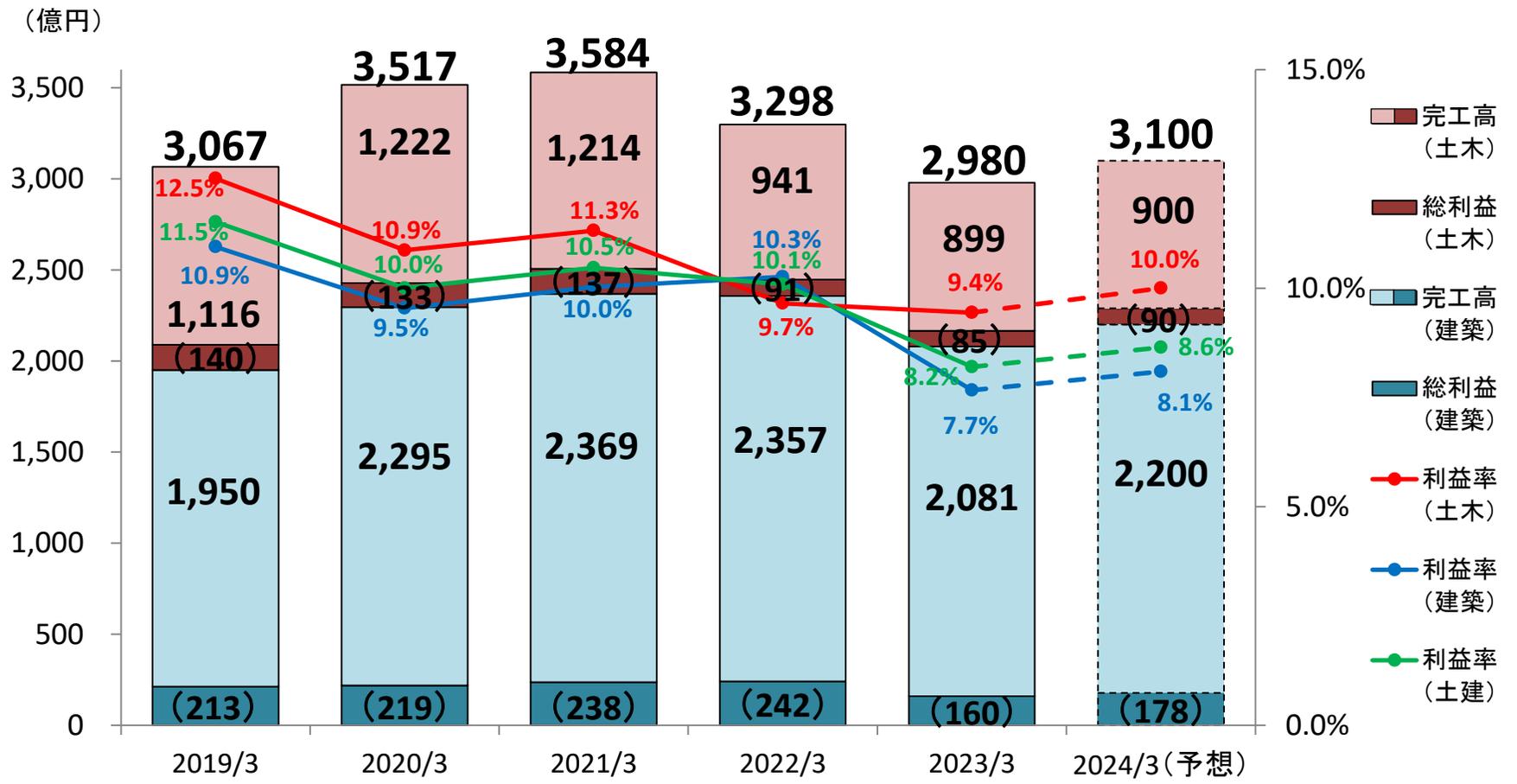
6.完成工事高および完成工事総利益(率)【連結】

- 子会社の完成工事高は増加したが、単体影響により連結完成工事高は減少
- 24/3期は繰越高が増加していることから、単体・子会社ともに完成工事高及び完成工事総利益は増加見通し

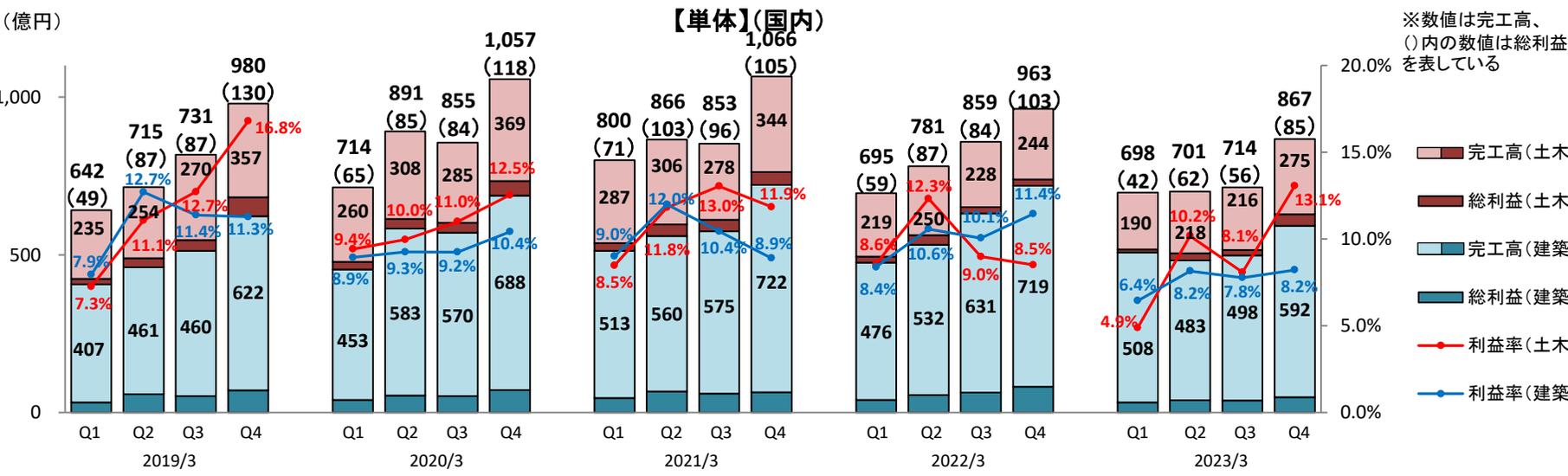
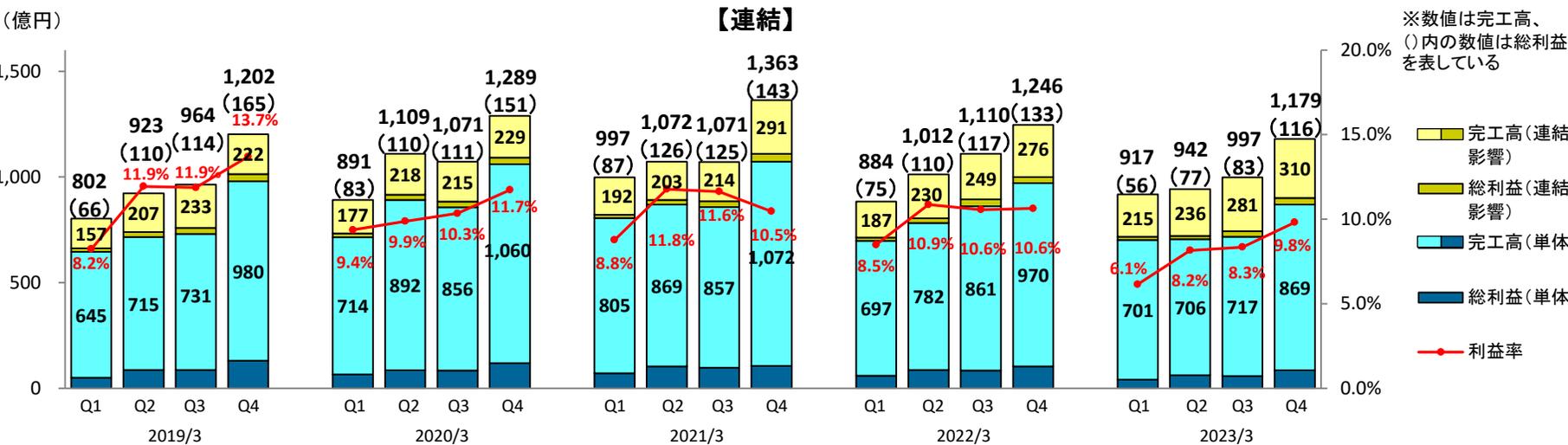


7.完成工事高および完成工事総利益(率)(国内)【単体】

- コロナ禍及び物価高騰等の影響により、複数の工事にて進捗が鈍化
- 完成工事高の減少及び建設コストの上昇の影響により完成工事総利益は減少
- 24/3期は繰越高増加により完成工事高が増加し完成工事総利益も増加の見通し

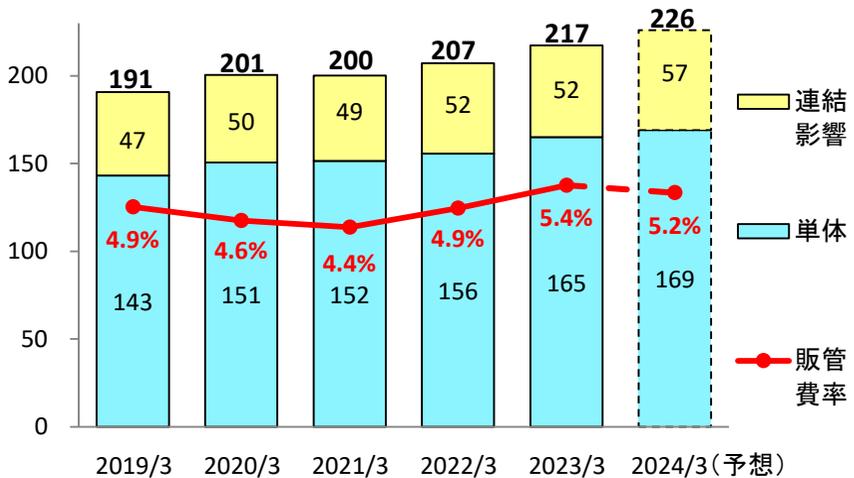


8. 四半期毎の完成工事高および完成工事総利益(率)の推移【連結】【単体】

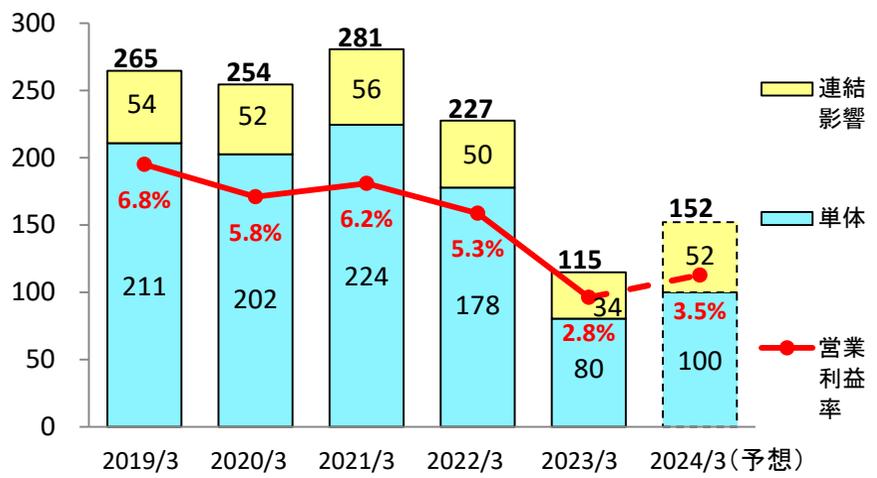


9.販売費及び一般管理費、営業利益および経常利益の推移【連結】

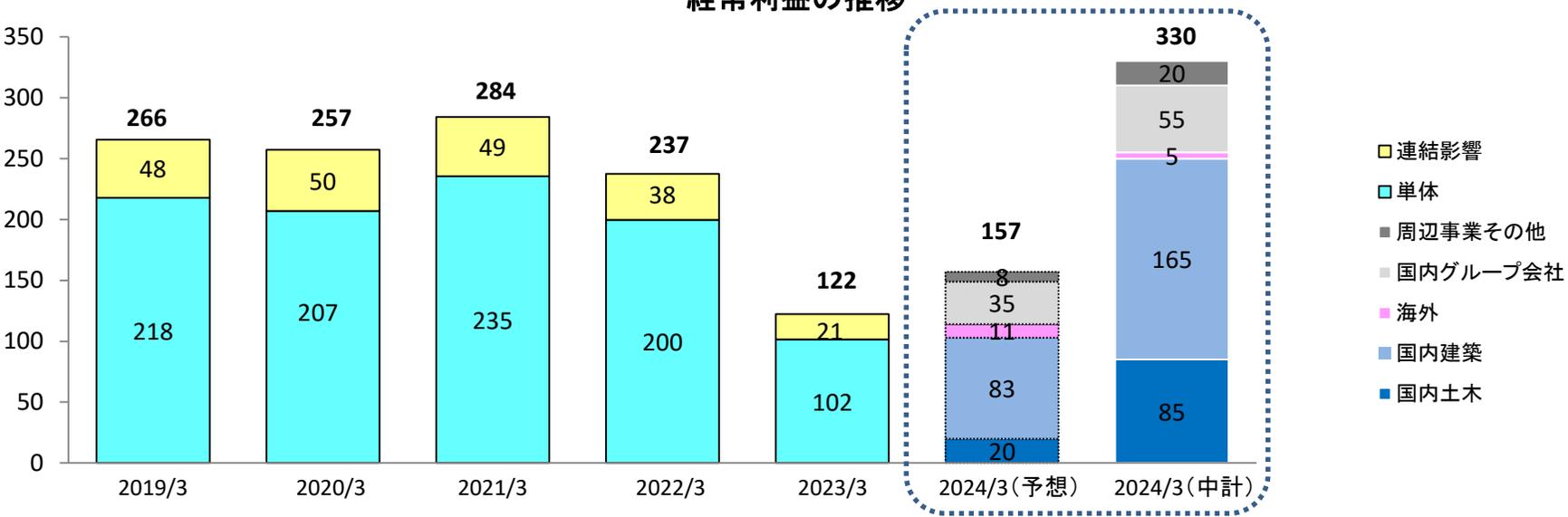
(億円) 販売費及び一般管理費の推移



(億円) 営業利益の推移



(億円) 経常利益の推移



10.貸借対照表① 資産【連結】

【連結貸借対照表】(資産)

(単位:億円)

	A.2022/3期			B.2023/3期			B-A		
	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等
現金預金	674	427	247	410	186	224	▲ 264	▲ 242	▲ 23
受取手形・完成工事未収入金等	2,048	1,766	282	2,255	1,911	343	206	146	61
未成工事支出金	102	93	9	104	92	13	2	▲ 1	3
未収入金	170	160	10	192	179	13	22	19	3
その他	25	11	14	23	14	9	▲ 2	3	▲ 5
貸倒引当金	▲ 0	▲ 0	▲ 0	▲ 1	▲ 0	▲ 0	▲ 0	▲ 0	▲ 0
流動資産合計	3,019	2,457	561	2,983	2,382	601	▲ 36	▲ 75	39
建物及び構築物	90	49	41	97	57	40	7	8	▲ 1
土地	154	125	29	171	141	30	17	16	0
その他	31	14	17	26	12	13	▲ 5	▲ 2	▲ 4
有形固定資産合計	275	187	87	293	210	83	19	22	▲ 4
無形固定資産合計	9	7	1	15	14	1	6	6	▲ 0
投資有価証券・関係会社株式	279	313	▲ 34	341	374	▲ 33	62	61	2
その他	131	75	57	136	66	70	5	▲ 9	14
貸倒引当金	▲ 2	-	▲ 2	▲ 2	-	▲ 2	0	-	0
投資等合計	409	388	21	476	440	36	67	52	15
固定資産合計	692	583	110	784	663	121	92	80	11
資産合計	3,711	3,040	671	3,767	3,045	721	56	5	50

10.貸借対照表② 負債・純資産【連結】

【連結貸借対照表】(負債・純資産)

(単位:億円)

	A.2022/3期			B.2023/3期			B-A		
	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等
支払手形・工事未払金・電子記録債務	1,110	899	212	1,104	836	269	▲ 6	▲ 63	57
短期借入金	31	29	2	39	57	▲ 18	7	27	▲ 20
未払法人税等	43	39	4	8	2	6	▲ 36	▲ 37	2
未成工事受入金	129	110	19	128	108	20	▲ 1	▲ 2	1
預り金	264	246	18	260	241	19	▲ 4	▲ 4	1
偶発損失引当金	0	0	0	0	-	0	▲ 0	▲ 0	0
賞与引当金	46	31	15	41	27	13	▲ 5	▲ 3	▲ 2
その他	129	116	14	129	114	15	▲ 0	▲ 1	1
流動負債合計	1,754	1,470	284	1,709	1,386	324	▲ 45	▲ 84	40
長期借入金	90	90	-	183	183	-	93	93	-
退職給付に係る負債/退職給付引当金	166	139	27	167	141	26	1	2	▲ 1
その他	8	3	5	9	5	3	1	2	▲ 1
固定負債合計	264	233	31	359	329	30	95	97	▲ 2
負債合計	2,018	1,702	315	2,068	1,715	353	50	12	38
株主資本	1,656	1,310	346	1,641	1,286	356	▲ 15	▲ 25	10
その他の包括利益累計額	37	27	10	57	45	13	20	18	3
純資産合計	1,693	1,337	356	1,699	1,330	368	6	▲ 7	13
負債及び純資産合計	3,711	3,040	671	3,767	3,045	721	56	5	50
(自己資本比率)	45.6%	44.0%	53.0%	45.1%	43.7%	51.0%	-0.5%	-0.3%	-2.0%

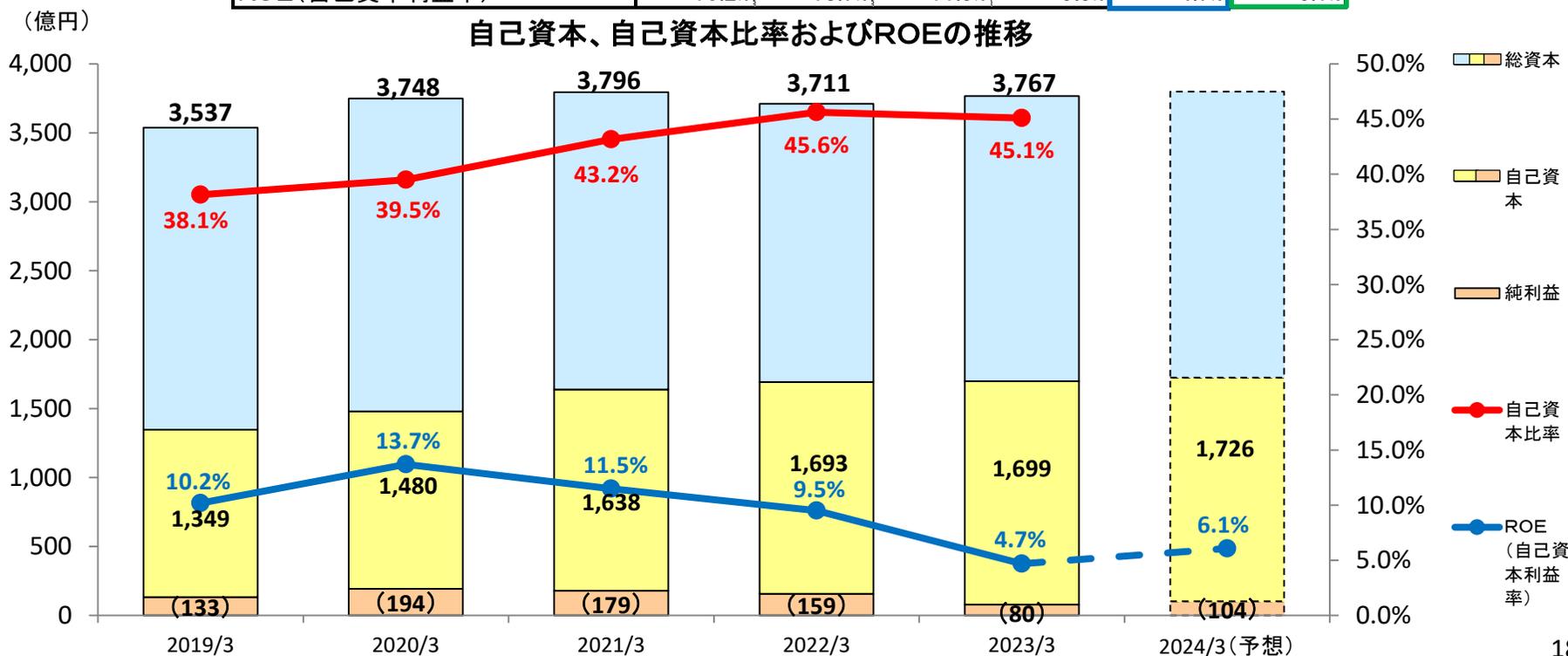
11.自己資本、自己資本比率およびROE【連結】

- 自己資本比率は前期比0.5ポイント低下したが45%超の水準を維持
- 当期純利益の減少によりROEは4.8ポイント減

自己資本、自己資本比率およびROEの状況

(単位: 億円)

	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3 (予想)
自己資本	1,349	1,480	1,638	1,693	1,699	1,726
総資本	3,537	3,748	3,796	3,711	3,767	-
自己資本比率	38.1%	39.5%	43.2%	45.6%	45.1%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	133	194	179	159	80	104
ROE(自己資本利益率)	10.2%	13.7%	11.5%	9.5%	4.7%	6.1%



12. 株主還元【連結】

- 安定配当の観点から配当額は130円/株とし、当期配当性向は72.4%に上昇
- 自己株式取得とあわせ、総還元性向は121.6%に上昇

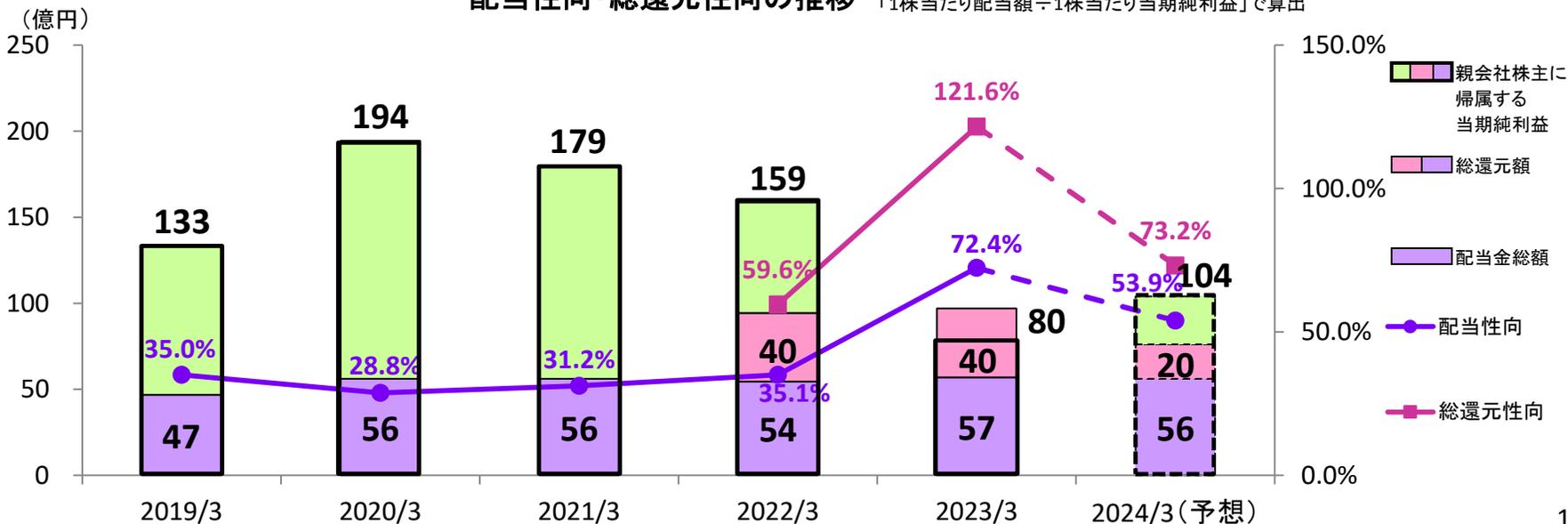
配当金の状況

(単位: 億円)

	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3(予想)
発行済株式数	46,805,660株	46,805,660株	46,805,660株	45,411,660株	43,900,360株	43,207,360株
自己株式数	▲36,826株	▲45,563株	▲52,116株	▲58,169株	▲62,644株	▲62,644株
1株当たり配当額	100.00円	120.00円	120.00円	120.00円	130.00円	130.00円
配当金総額	47	56	56	54	57	56
親会社株主に帰属する当期純利益	133	194	179	159	80	104
1株当たり当期純利益	285.49円	417.35円	384.69円	342.13円	179.64円	241.07円
配当性向	35.0%	28.8%	31.2%	35.1%	72.4%	53.9%
自己株式取得	—	—	—	40	40	20
総還元額	—	—	—	94	97	76
総還元性向	—	—	—	59.6%	121.6%	73.2%

配当性向・総還元性向の推移

※ 配当性向は、「1株当たり配当額÷1株当たり当期純利益」で算出



13.有利子負債【連結】

- 有利子負債の増加によりD/Eレシオは上昇

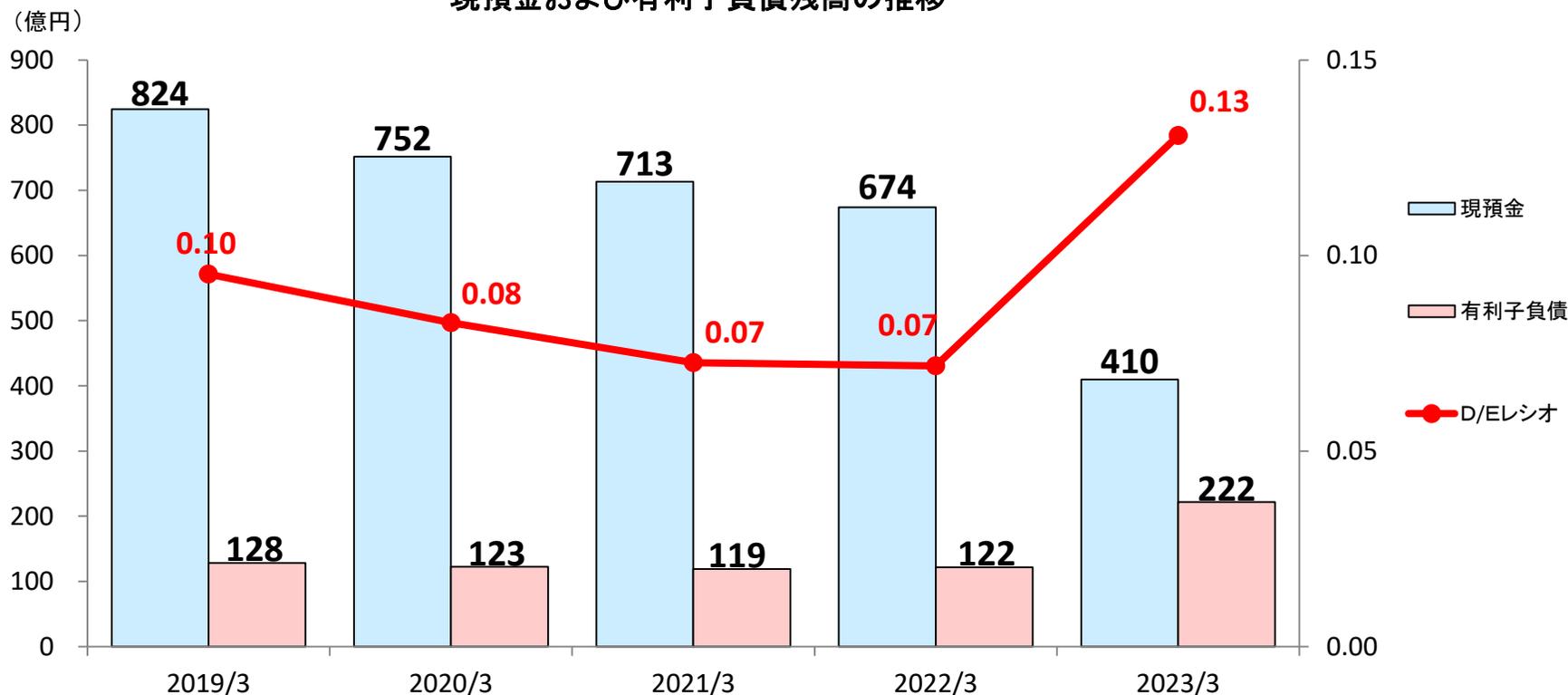
有利子負債の推移

(単位:億円)

	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
有利子負債残高	128	123	119	122	222
自己資本	1,349	1,480	1,638	1,693	1,699
D/Eレシオ	0.10	0.08	0.07	0.07	0.13

※D/Eレシオ
有利子負債÷自己資本

現預金および有利子負債残高の推移



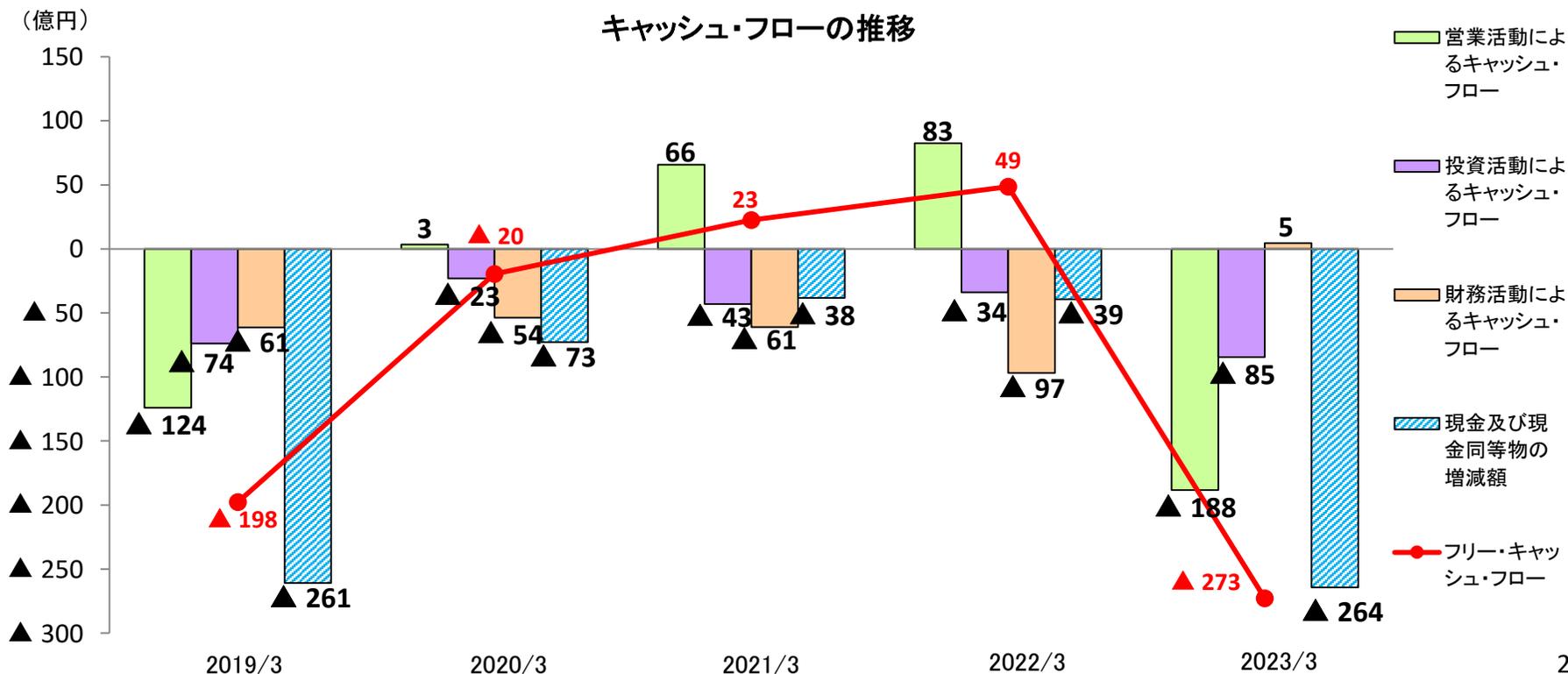
14. キャッシュ・フロー【連結】

- 営業CFは利益の減少、売上債権の増加等によりマイナス
- 投資CFは固定資産の取得等によりマイナス、全体で264億円のマイナス

キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 124	3	66	83	▲ 188
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 74	▲ 23	▲ 43	▲ 34	▲ 85
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 61	▲ 54	▲ 61	▲ 97	5
現金及び現金同等物の増減額	▲ 261	▲ 73	▲ 38	▲ 39	▲ 264



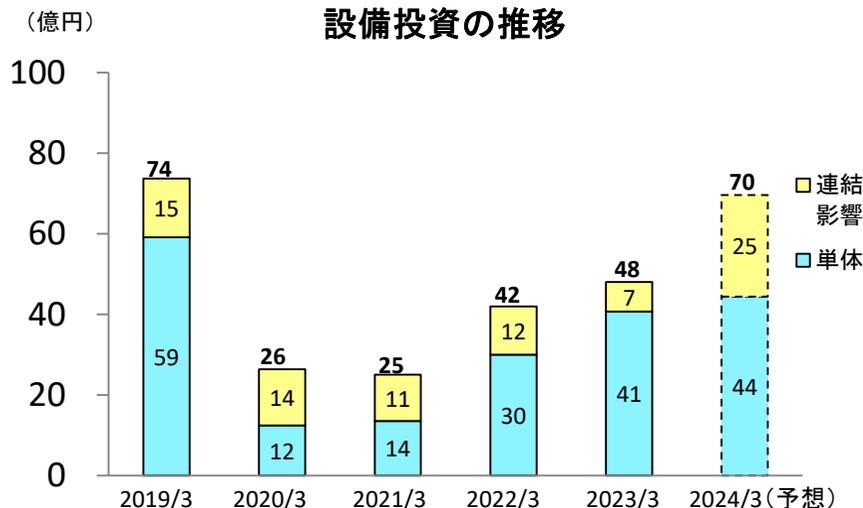
15.設備投資、減価償却費、研究開発費の推移【連結】

設備投資等の状況(連結)

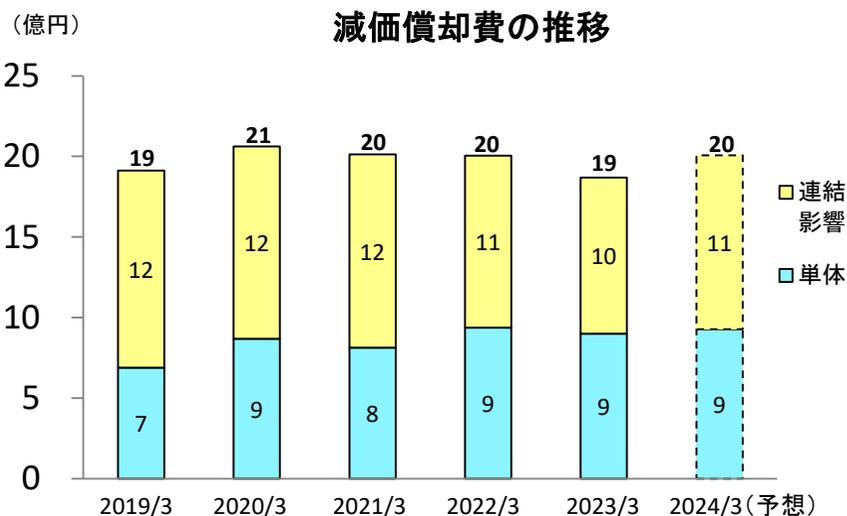
(単位:億円)

	2019/3	2020/3	2021/3
設備投資	74	26	25
減価償却費	19	21	20
研究開発費	23	26	27
	2022/3	2023/3	2024/3(予想)
設備投資	42	48	70
減価償却費	20	19	20
研究開発費	27	28	30

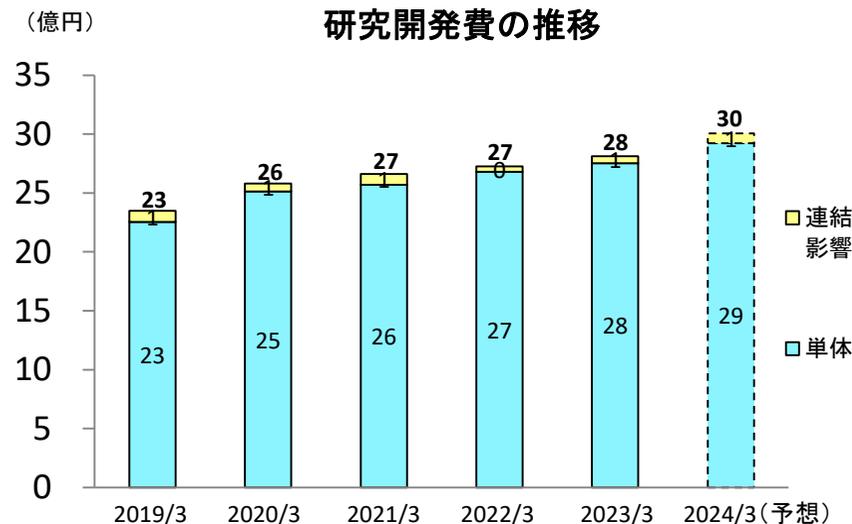
設備投資の推移



減価償却費の推移



研究開発費の推移

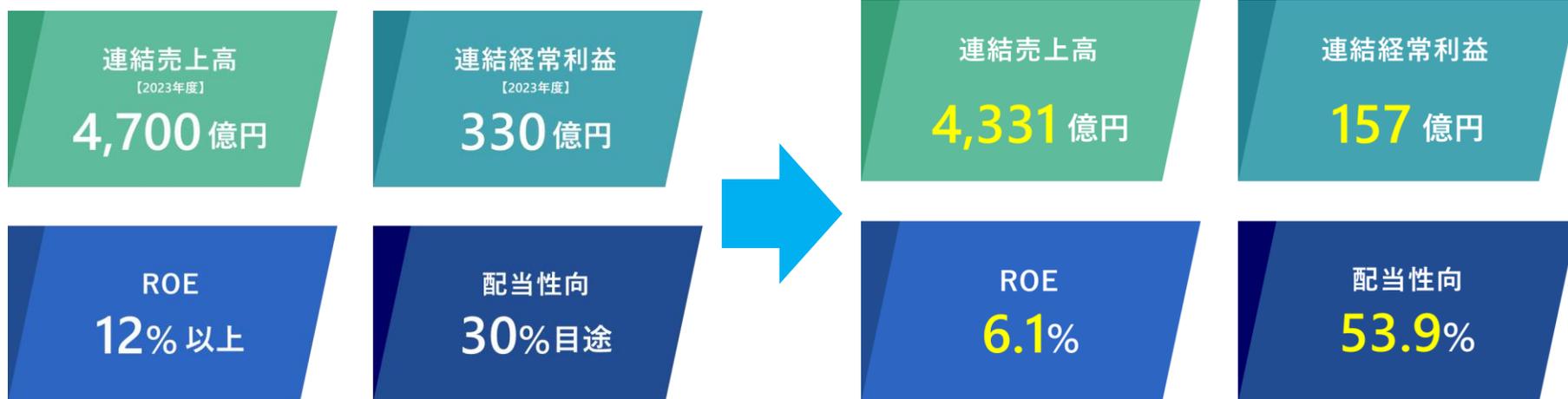


16. 中期経営計画における財務目標との比較(2023年度)

- 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化/ウクライナ情勢などに起因する資材価格の高騰と経済/社会情勢の変化により売上高・経常利益・ROEが計画を下回る見通し
- 安定配当の観点から配当額は130円/株とし、配当性向は53.9%の見通し

<中期経営計画>

<2023年度予想>



【2024年度以降の見通し】

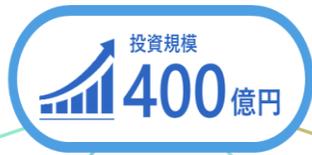
- 外部環境の変化が一定程度収束する見込み
- 業績改善に向けた施策の効果発現を期待
- 住友林業との協業を含めた投資収益の積み上げ

➡ **連結経常利益：300億円水準へ引上げ、将来の姿として500億円を目指す**

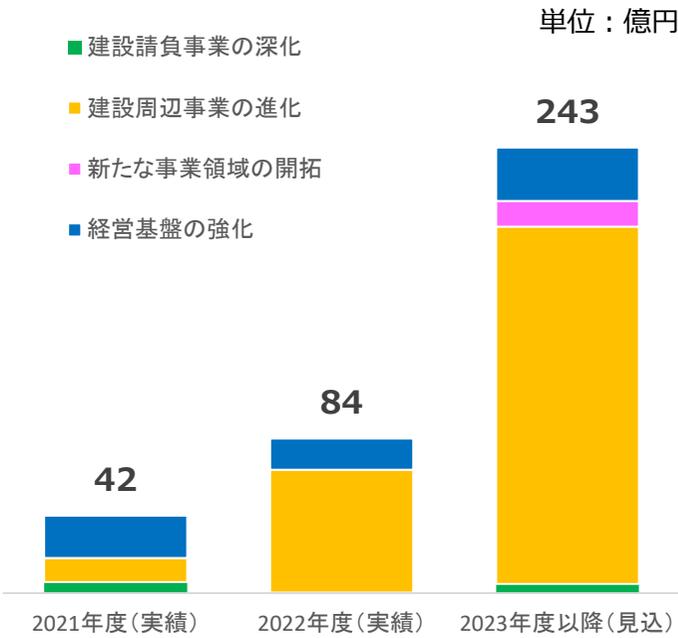
17. 中期経営計画における投資の推移

- 中期経営計画期間中に総額400億円規模の投資を計画
- 2022年度までの実績は約130億円、2023年度以降は現在約240億円の案件について検討中

<中期経営計画>



<投資の推移>



- 【今後について】
- 環境変化によるリスクの再検討等を踏まえ、時期がずれても事業の組立てを再構築し成長投資を継続
 - 海外不動産開発事業、再生可能エネルギー事業などの収益貢献が徐々に開始

18. 企業価値向上に向けた取組み①

- 資本コストを意識した経営に取り組む
- 収益力/株主還元/資本効率等を高めるための取組みを継続中

✓収益力の拡大：「建設請負事業の深化」「建設周辺事業の進化」「新たな事業領域の開拓」を事業戦略、「経営基盤の強化」を基盤戦略とする。（中期経営計画）

事業戦略①：建設請負事業の深化

コア事業である建設請負事業の強化・効率化を図り、収益性を高めます。

区分	国内土木事業	国内建築事業	海外建設事業
注力分野	<ul style="list-style-type: none"> ■ インフラ大更新分野 ■ 再生可能エネルギー分野 ■ 防災・減災、国土強靭化分野 ■ 資源循環分野 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生産・商業・物流分野 ■ 医療・福祉分野 ■ 中大規模木造建築分野 ■ 市街地再開発分野 ■ 環境配慮リニューアル分野 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アジア地域の都市インフラ整備分野 ■ アジア地域に進出する日系企業の支援 ■ 台湾における圧倒的な地位の確立

事業戦略③：新たな事業領域の開拓

新たな事業領域の開拓にも挑戦し、目指す社会の実現に貢献できる領域を拡大するとともに、事業環境の変化に対応できるよう事業機会の創出を目指します。



事業戦略②：建設周辺事業の進化

成長領域と位置づける建設周辺事業を加速し、確固たる収益源を創出します。

区分	再生可能エネルギー事業	不動産開発事業	インフラ運営事業	技術商品販売事業
注力分野	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住友林業との協業を含む木質バイオマス発電事業 ■ 風力・太陽光発電事業（海外含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市再生・まちづくり事業 ■ 住友林業との協業を含む不動産開発事業（海外含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有料道路事業 ■ PPP・コンセッション事業（海外含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ バイオマス燃料開発・販売事業 ■ インフラリニューアル工法開発・販売事業 ■ 介護・福祉機器開発・販売事業 ■ 建築仮設（鉄骨建方治具等）事業

基盤戦略：経営基盤の強化

経営を支える基盤を一層強化し、事業推進の実効性を高めます。

区分	デジタル化	技術開発	人材開発	ガバナンス
注力取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新基幹システムの活用による業務プロセスの効率化・自動化 ■ ビジネス変革に向けたDX推進体制の整備 ■ 社員のITリテラシー向上及び他社との協業によるDX人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 脱炭素・循環型社会に資する研究開発の推進 ■ デジタル社会に対応する技術開発の推進 ■ 建設高度化に資する技術開発の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な人材が能力を最大限に発揮できる環境・制度の整備 ■ ニューノーマルに対応する新しい働き方の推進 ■ 高付加価値人材の確保に向けた制度の整備と育成の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ESG経営の推進による長期的かつ持続的な企業価値の向上 ■ グループ連携の深化によるシナジーの更なる創出 ■ リスクマネジメントの徹底による安定した経営の維持

18. 企業価値向上に向けた取組み②

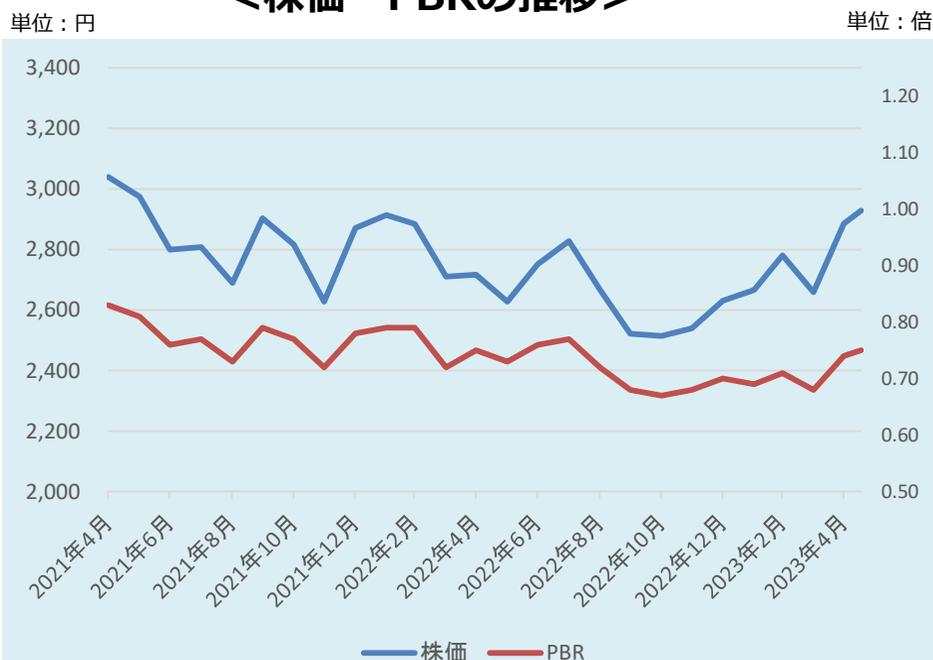
✓ **株主資本コスト**：6%程度を前提とする。

✓ **利益配分**：適正かつ安定的に利益還元していくことを基本方針とする。

✓ **自己株式取得**：100億円規模（中期経営計画期間中）

✓ **資本効率**：ROE12%以上（中期経営計画）

<株価・PBRの推移>



<主な財務指標の推移 (連結) >

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度※
売上高	億円	4,252	4,035	4,331
経常利益	億円	237	122	157
配当性向	%	35.1%	72.4%	53.9%
自己株式取得	億円	40	40	20
総還元性向	%	59.6%	121.6%	73.2%
ROE (自己資本利益率)	%	9.5%	4.7%	6.1%

※見込

<株主資本コスト・ROEの推移>



Ⅱ.住友林業との協業状況

19.住友林業との協業状況

・・・P28

19.住友林業との協業状況

・ 中大規模木造建築ブランド「with TREE」の取組みにより複数の木造案件を受注するなど、木化・緑化分野で着実に成果を積み上げる

協業分野

現況(～2023.3)

当面の目標(2023.4～)

木化・緑化関連建設事業

- 中大規模木造建築ブランド「with TREE」による複数の木造案件を受注（H10シリーズ、KAGAプロジェクト他）
- CO2算定ソフト「One Click LCA」を導入、CO2排出量削減を提案し案件受注
- 緑化提案を取り入れた複数の大型案件の受注
- 耐火木材とZEB化を取り入れた当社福井本店を営業ツールとして活用
- 人材交流や木造・脱炭素に関する勉強会、見学会を継続的に実施

etc

- 「with TREE」のブランドメニュー拡幅、技術開発
- 中大規模木造建築案件の受注拡大
- 「One Click LCA」による建設時CO2排出量算定と受注拡大
- 緑化提案による大型案件の受注拡大
- 緑化樹木配送のモーダルシフトを推進
- 環境不動産への取組・受注促進

etc

再生可能エネルギー事業

- 脱炭素バイオマス燃料「ブラックパークペレット（BBP）」を開発、複数の石炭火力発電会社において試験燃焼を実施し一定の評価を獲得

etc

- BBP販売の事業会社を設立、BBP製造拠点の建設着手
- 発電事業の事業化の検討

etc

海外事業

- アジア地域での不動産開発事業への参画に向け、シンガポールに「SFKG社」を設立し、インドネシアで「クニンガンプロジェクト」を推進中
- タイでの住友林業の超高層コンドミニアム不動産開発事業において建設技術支援の実施
- 環境配慮型の米国不動産私募ファンドへ参画
- 米国でのESG配慮型オフィス開発へ参画

etc

- インドネシア「クニンガンプロジェクト」現地パートナーとの連携による事業推進
- アジア地域を中心とした不動産開発事業の推進・拡大
- ファンドを含む不動産開発への投資リターンによる収益獲得

etc

周辺事業領域

- 「with TREE」を発展させるべく、コストダウンの実現に向けたサプライチェーンを拡大中

etc

- 「with TREE」を発展させるべく、コストダウンの実現に向けたサプライチェーンを拡大

etc

共同研究開発

- 中大規模木造関連の構造部材「KS木質座屈拘束ブレース」を共同開発
- 林業機械システムの自動化による省力化の共同研究を実施

etc

- 各種開発技術の物件への採用
- 林業機械システムの自動化、省力化技術の開発

etc

Ⅲ.非財務目標の取組み状況

- | | |
|-----------------------|--------|
| 20.非財務目標の進捗 | ・・・P30 |
| 21.カーボンニュートラルの計画 | ・・・P31 |
| 22.外部からの評価・イニシアチブへの参画 | ・・・P33 |

20.非財務目標の進捗

中期経営計画において以下の非財務目標を掲げています。

「ESG取組方針」のもと、持続可能な社会の形成と自らの持続的な成長のため、ステークホルダーにとって重要と考えられる課題をESG視点で特定し、事業活動を通して社会課題の解決(社会価値)と事業収益の拡大(経済価値)の双方を追求します。

ESG視点	主な評価指標	計画期間中の数値目標	2022年度実績	SDGsへの貢献
環境 Environment	CO₂排出量削減率 (スコープ1、2) <small>スコープ1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出 スコープ2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用にともなう間接排出</small>	【2030年】 2019年度比△25%以上	2019年度比△17.3%※	 
	混合廃棄物排出率 <small>建設廃棄物総排出量に占める混合廃棄物総排出量</small>	2.0%以下	1.9%	 
社会 Social	安全度数率 <small>100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数</small>	0.5以下	0.69	 
	社員の時間外労働時間数 <small>1ヶ月間に実施した時間外労働時間数の平均</small>	30時間以下	21.4時間	 
ガバナンス Governance	重大な法令違反発生件数 <small>行政処分及び行政措置等を含む</small>	0件	0件	 

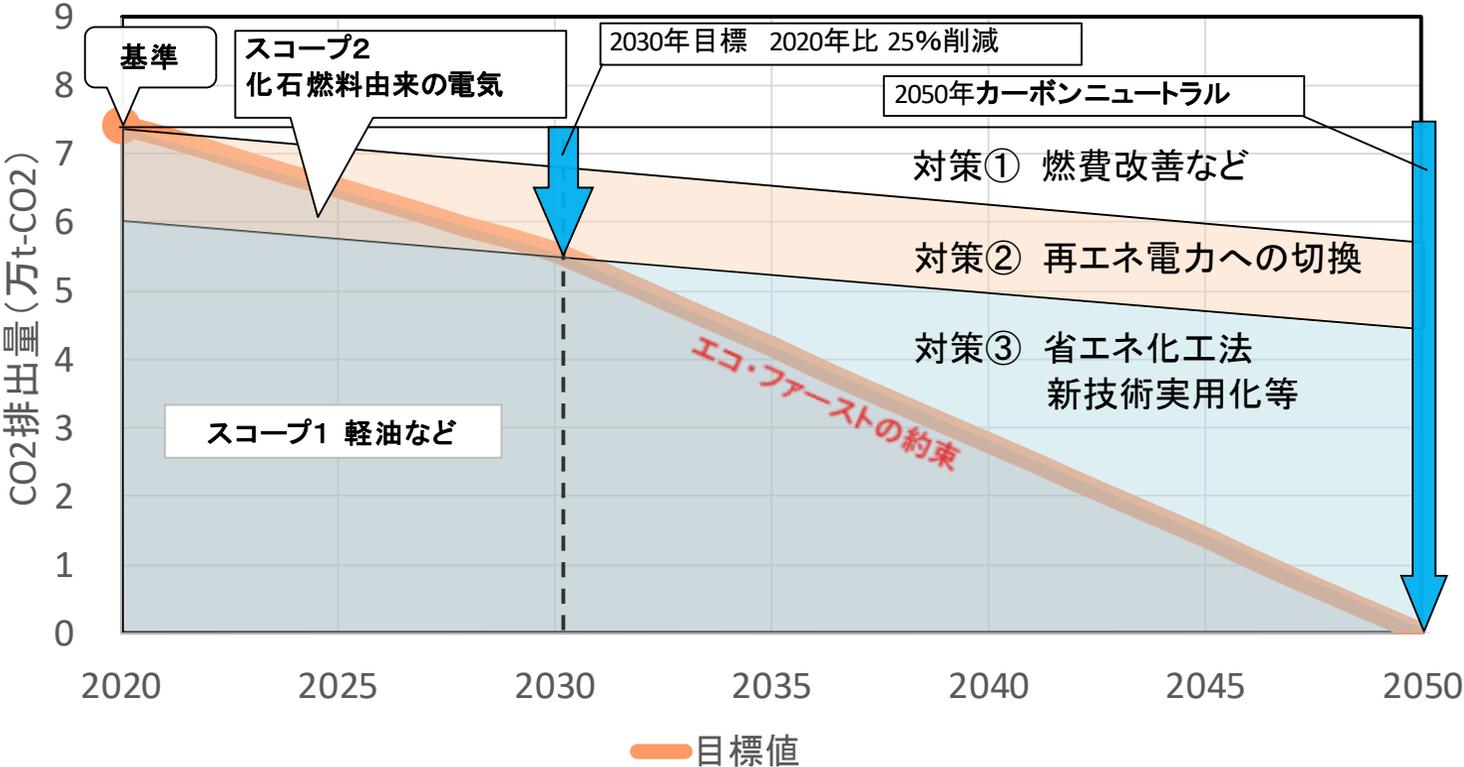
※印の数値は2021年度実績。2022年度実績は算定中

21.カーボンニュートラルの計画① スコープ1+2

熊谷組単体の温室効果ガス削減目標

	基準年2020年(2019年度実績)	2021年度実績※	2030年目標	2050年目標
スコープ1+2	7.43万t-CO ₂	5.90万t-CO ₂	2020年比 25%削減	2020年比 100%削減

※2022年度実績は現在算定中



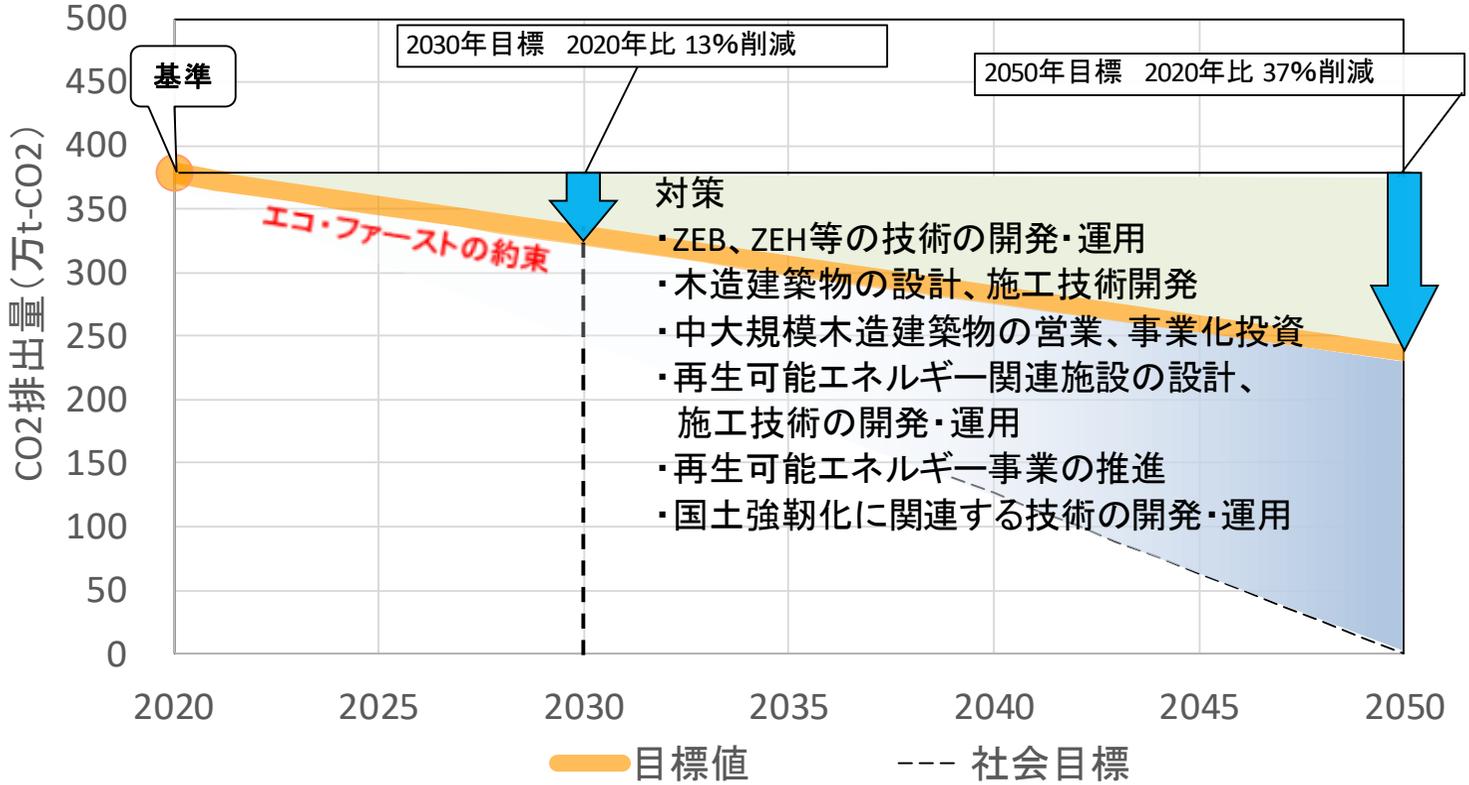
熊谷組のCO2排出量の目標【総量】(スコープ1、2)

21.カーボンニュートラルの計画② スコープ3

熊谷組単体の温室効果ガス削減目標

	基準年2020年(2019年度実績)	2021年度実績※	2030年目標	2050年目標
スコープ3	378.20万t-CO ₂	475.28万t-CO ₂	2020年比 13%削減	2020年比 37%削減

※2022年度実績は現在算定中



熊谷組CO₂排出量の目標【総量】(スコープ3)

22.外部からの評価・イニシアチブへの参画



WE SUPPORT
UN GLOBAL COMPACT
国連グローバル・コンパクト
署名・加入



「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」
提言への賛同



CDPサプライヤー・エンゲージメント評価
「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」選定



CDP気候変動部門
「Bリスト」選定



国際イニシアチブ「RE100」
加盟



「日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP)」
賛助会員として加盟



「SBTイニシアチブ」
認定



経済産業省
「DX認定事業者」選定



「エコ・ファースト企業」
認定



「ZEBプランナー」
登録



「ZEHデベロッパー」
登録

「World Benchmarking Alliance」
「SDG2000」選出



「健康経営優良法人2023」
(大規模法人部門)



LGBTQへの取り組みを評価する
PRIDE指標の「シルバー」受賞



「子育てサポート企業」認定
(くるみん認定)



「えるぼし」認定
最高位3段階目を取得



「なでしこ銘柄」
選定



「新・ダイバーシティ経営企業100選」
選定

2021 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

MSCI日本株女性活躍指数 (WIN) 構成銘柄に選定

THE INCLUSION OF KUMAGAI GUMI CO., LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF KUMAGAI GUMI CO., LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



「JPX日経インデックス400」
採用



S&P/JPX カーボン
エフィシエント
構成銘柄に選定



「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」
構成銘柄に選定

(別添)

当社特定建設工事共同企業体の工事におけるコンクリートの 単位水量試験・スランプ試験の虚偽報告事案について

2023年5月2日及び5月12日にお知らせしたとおり、当社を代表とする特定建設工事共同企業体が施工中の「北海道新幹線、羊蹄トンネル（有島）他」におけるコンクリートの単位水量試験及びスランプ試験に関し、発注者と定めた頻度で試験を実施していなかったにも関わらず、所定の頻度の試験を実施したとの虚偽報告を行っていたことが判明しました。

ご関係の皆様には、多大なるご迷惑をお掛けすることとなり、誠に申し訳なく改めて深くお詫び申し上げます。

現在、社長を委員長とする特任対策委員会を設置し、対象のコンクリートの強度の調査及び当社の施工する他の全ての工事案件について同様の事案がないかの確認を進めるとともに、事案の把握、原因解明及び再発防止策の検討を進めております。

なお、特任対策委員会による原因解明及び再発防止策の策定がより有効なものとなるよう、法遵守監査委員会において、社外の視点からの実効性を確認・評価いたします。

また、事案発生を受け、全役職員を対象に緊急のコンプライアンス研修を実施いたします。

今後、対象のコンクリートの強度に関する調査結果及び業績に与える影響が判明次第、速やかにお知らせいたします。

高める、つくる、そして、支える。



熊谷組

(将来事象に関する注意事項)

本資料に記載されている戦略や計画、数値目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、経営環境の変化等によって変動する可能性がありますことをご承知おきください。